



8月の主な行事

1日 : 水の日	15日 : 月遅れ盆・終戦記念日
6日 : 広島平和記念日	23日 : 処暑
7日 : 立秋・花の日・鼻の日	25日 : 即席ラーメンの日
9日 : 長崎原爆の日	31日 : 野菜の日



今月のかわら版 : 1 「多様な生き物を守るお買い物をはじめませんか！」

毎日、地球温暖化などさまざまな環境問題がニュースを賑わせていますが、生き物の絶滅も深刻な問題として関心を集めています。

地球上の生き物は、生命が誕生して以来さまざまな環境に適応して進化し、未知のものを含めると3,000万種ともいわれる多様な生き物が生まれました。これらの命は相互につながり、支えあうことで子孫を残してきました。私たち人間は、こうした多様な生き物が生存していることで、安心して飲める水や豊富な種類の食べ物、医薬品の基になる化学成分等を楽しむなど、大きな恵みをもたらして生活しています。

ところが、産業革命以降、人間の生産活動や土地開発等による環境破壊が進み、多くの生き物が減少・絶滅するようになり、近年その傾向はスピードを増しています。

では、私たちは多様な生き物を守るために何ができるのでしょうか。例えば、地域の自然を守るボランティア活動に参加することもひとつですが、「お買い物」も方法によっては、生き物たちを守ることに大きな効果があるのです。

例えば、コーヒーや、洗剤や食用油の原料であるアブラヤシは、効率的に生産するため、生き物の宝庫である熱帯林を伐採した大農場で大量栽培するケースが多いと聞いています。テレビに最近よく登場するオランウータンも、熱帯林の急速な減少により絶滅に瀕しています。そこで従来の栽培方法とは違う、環境に優しい方法が実践され始めました。

コーヒーは、元の熱帯林の木を残しながら栽培するシェイド・グロウン・コーヒー (shade-grown coffee<木陰で育ったコーヒー>) が商品化されています。また、アブラヤシについても、環境や生き物への負荷を抑えた農場に認証される、いわゆるエコラベルの仕組みが生まれ、その認証マークのついた商品が流通し始めています。

このような生き物に配慮した製品を選択することは、間接的ではありますが多様な生き物を守る一番インパクトのある行動となります。

私たち消費者も商品内容をよく勉強し、環境に配慮している商品であるかを見極め選ぶことが必要な時代になってきています



今月のかわら版 : 2 「畳のひみつ」

私たち日本人には馴染み深い畳。畳の歴史は古く、今の厚みのある畳は、奈良時代の正倉院にある聖武天皇が使用した御床畳がルーツといわれています。

平安時代には、身分によって畳の大きさや縁の生地や色が決められるようになり、一般庶民に普及したのは、江戸時代に入ってからだそうです。

畳は部屋の広さを示す単位としても使われていますが、地域により、畳の大きさが異なります。実際に部屋を見たら「こんなに小さいの！」と驚くことも少なくありません。それぞれの地方のサイズを見てみましょう。

- ・京間 横95.5cm×縦191cm 主に関西、中国、四国、九州地方で使用
- ・中京間 横91cm×縦182cm 主に愛知、岐阜、三重で使用
- ・江戸間 横88cm×縦176cm 東北、北陸地方でも一部見られる
静岡以北の関東地方を中心に使用

なぜ大きさが違うのでしょうか。ひとつには、地域によって、家の建て方が違っていたということが原因のようです。

関東地方は、まず家を建てた後に、柱と柱の間の寸法を測り、そこに合うように畳を作り、はめ込むという方法を取っていました。それに対して関西地方では、畳の大きさに合わせて家のサイズを決めていました。どの家も畳の大きさは変わらないので、引っ越すときには、家具とともに畳を持っていったほどです。

～夏は涼しく、冬はあったか～

畳の素材は、い草。い草は、俳句では夏の季語なんだそうです。新しい畳だとい草のいい匂いがしますね。

畳表に使われているこのい草の中身は、フワフワとしたスポンジのようになっている植物で、空気をたくさん含んでいます。このたくさんの空気を含む畳は、夏は暑さを遮断して、ひんやりと肌に心地よく感じられ、冬には、冷たい空気を遮り、保温性に優れています。つまり自然のエアコン作用を備えているということです。

また、い草のスポンジ部分が湿度を吸収したり、ワラの空洞部分が湿気を放出したり、畳には快適な湿度を保ってくれる湿度調整の機能もあります。畳は、高温多湿の日本の風土にピッタリとマッチした敷物ですね。

畳は、和室にと思いがちですが、置き畳を並べてベッドにしたり、重ねてソファにしたり、洋の空間にもすんなり馴染みます。

最近では、色や柄を持つ畳も増え、自由な発想で楽しめそうです。

知れば知るほど良いことづくしな畳。

古来から畳が親しまれてきた理由がわかる気がしますね。

